

## 第3章 中間評価の概要

### 1 中間評価の目的

中間評価は、第2次計画策定時に設定した全ての指標について、計画策定から5年を目安に目標達成のための施策の効果を適切に評価します。計画前期の取組の結果から見えてきた課題を整理し、計画後期の取組の方向性を明らかにすることを目的としています。

指標の実績値を確認するために、各種統計データの収集と市民意識調査（市民健康意識アンケート及び健やか親子アンケート）を実施します。

### 2 指標の評価区分と評価基準

指標の評価は、第2次計画の策定時（平成25年度）と直近値を比較し、実績値が最終年の目標値に対してどのような現状にあるのかを見ていきます。評価基準は、目標値を数値で示しているものと増減で示しているものがあるため、「数値目標」「増減目標」に分けて設けています。

評価区分	評価基準(数値目標)	評価基準(増減目標)
A (達成)	中間評価値の値が目標値を達成している (達成率*90%以上)	中間評価値の値が十分に策定時の値より改善している
B (改善)	中間評価値の値が策定時の値より改善している(達成率*10%以上 90%未満)	中間評価値が誤差の範囲を超えて策定時の値より改善している
C (変わらない)	中間評価値の値が策定時の値から変化がみられない (達成率* -10%以上 10%未満)	中間評価値が誤差の範囲内において策定時の値から変化がみられない
D (悪化)	中間評価値の値が策定時の値より悪化している(達成率* -10%未満)	中間評価値が誤差の範囲を超えて策定時の値より悪化している
E (評価不能)	基準や指標の変更等により評価が困難	基準や指標の変更等により評価が困難

\* 達成率 = [(中間評価値 - 策定時の値) / (目標値 - 策定時の値)] × 100

### 3

## 市民意識調査の概要

中間評価のために実施した市民意識調査は、一般市民に行う市民健康意識アンケート（以下「市民アンケート」）、妊婦、子ども保護者や児童生徒に行う健やか親子アンケート（以下「健やかアンケート」）で構成されています。

### ●● 調査の種類と実施の概要

調査の種類		調査対象	抽出方法	調査方法	調査時期	
市民健康意識アンケート		20歳以上の市民 5,000人	無作為抽出	郵送配布・回収	平成30年9月	
健やか親子アンケート	妊婦	市内の妊婦	妊娠届出者	妊娠届出時に配布・回収	平成30年9月	
	保護者用	4か月児	市内の4か月児の保護者	乳幼児健診受診者		健診受診時に配布・回収
		1歳6か月児	市内の1歳6か月児の保護者			
		3歳児	市内の3歳児の保護者			
	小中学生	市内の小中学生の保護者	各学校から抽出	学校を通じて配布・回収	平成30年7月	
	生徒用 児童・	小学生	市内の小学6年生	各学校から抽出		学校を通じて配布・回収
中学生		市内の中学3年生				
高校生		市内の高校3年生				

### ●● 配布・回収状況

調査の種類		配布数(A)	回収数(B)	回収率(B/A)	有効数(C)	有効回収率(C/A)	
市民健康意識アンケート		5,000件	1,956件	39.1%	1,953件	39.1%	
健やか親子アンケート	妊婦	600件	589件	98.2%	588件	98.0%	
	保護者用	4か月児	861件	574件	66.7%	574件	66.7%
		1歳6か月児	888件	762件	85.8%	755件	85.0%
		3歳児	882件	750件	85.0%	749件	84.9%
	小学生	1,003件	818件	81.6%	813件	81.1%	
	中学生	587件	510件	86.9%	508件	86.5%	
	生徒用 児童・	小学生	1,003件	912件	90.9%	905件	90.2%
		中学生	587件	566件	96.4%	564件	96.1%
高校生		1,379件	1,379件	100%	1,372件	99.5%	

### ●● 調査結果（抜粋）の図・表の見方

- ・ 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位を四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

## 4

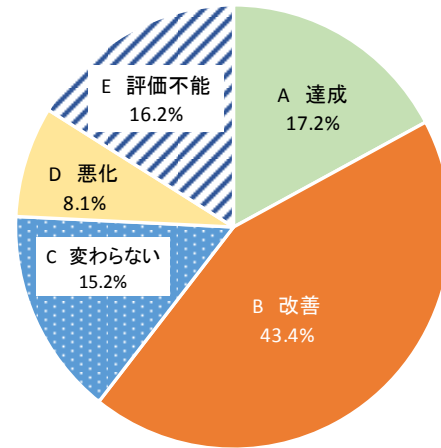
# 中間評価の総括

## 1

### 指標の現状

健康おかげき 21 計画（第 2 次）では、21 の目標と 99 の指標を設定しています。

評価結果は、「目標を達成（A）」又は「策定時より改善（B）」している指標が、全体の約 6 割です。「策定時より悪化（D）」している指標は、1 割未満ですが、「評価不能（E）」の指標が 16 件（16.2%）あります。



#### ●● 基本目標「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」

- ・健康寿命の指標は、策定時から横ばいの状態です。
- ・主観的な健康感の指標である「自分が健康であると思う」人の割合は改善していますが、現状の改善割合のままでは、最終評価までに目標達成が難しい状況です。

#### ●● 目標達成の方向性「生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底」（分野 1）

- ・がん検診や特定健康診査により、定期的に健康チェックをする人の割合は、横ばいから改善となっています。市民アンケートの結果から、職場が実施している検診（健診）を利用している市民が多数おり、市が実施している検診（健診）の受診率だけでは、市民全体の状況を把握できない現状があります。
- ・3 大疾病による年齢調整死亡率のうち、男性の虚血性心疾患については、増減を繰り返しています。経年で減少が見られないと目標達成が難しい状況です。
- ・メタボリックシンドロームと関連する血圧、脂質異常、糖尿病に関する指標は、改善していますが、現状の改善割合のままでは、最終評価までに目標達成が難しい状況です。

#### ●● 目標達成の方向性「ライフステージに合わせた健康づくりの推進」

##### ・分野 2 栄養・食生活

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が 1 日 2 回以上の日がほぼ毎日の人の割合と 1 日あたりの野菜摂取量が横ばいの状態であり、最終評価までに目標達成が難しい状況です。

##### ・分野 3 身体活動・運動

男性の運動習慣者の割合は、「達成」と「改善」になっていますが、女性は年齢階層に関係なく横ばいの状態であり、最終評価までに目標達成が難しい状況です。

- ・分野4 休養・こころの健康

強いストレスを感じている人の割合は順調に減少しています。睡眠による休養がとれていない人の割合が悪化しています。

- ・分野5 たばこ

成人の喫煙率は順調に減少しています。たばこをやめたいと思っている人を確実に禁煙につなげることで、目標達成が可能です。

- ・分野6 アルコール

生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合は、男性で目標達成、女性も順調に改善しており、最終評価までに目標を達成できる見込みです。

- ・分野7 歯と口の健康

7指標中6指標が「達成」又は「改善」となっています。妊婦歯科健康診査を受診している人の割合は悪化しており、最終評価までに目標達成が難しい状況です。

- ・分野8 健やか親子

10歳代の性感染症罹患者の数は、経年の推移で見ると尖圭コンジローマ以外は完全に減少傾向にあるとは言い難い状況です。

●● 目標達成の方向性「健康づくりを支える社会の構築」

- ・地域の活動やボランティア活動に参加している人の割合は増加し目標を達成していますが、保健所が養成・支援をしている健康づくりのボランティアを知っている人の割合は悪化しており、最終評価までに目標達成が難しい状況です。

●● 指標の中間評価一覧

指標		評価
<b>基本目標:健康寿命の延伸と健康格差の縮小</b>		
健康寿命	男性	C
健康寿命	女性	C
自分が健康であると思う人の割合		B
毎日が楽しいと思う人の割合		B
<b>基本目標達成の方向性:生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底(分野1)</b>		
40~69歳のがん検診受診率(胃がん)		C
40~69歳のがん検診受診率(肺がん)		B
40~69歳のがん検診受診率(大腸がん)		B
20~69歳(女性)のがん検診受診率(子宮頸がん)		D
40~69歳(女性)のがん検診受診率(乳がん)		C
特定健康診査実施率		B
特定保健指導実施率		B
COPDを知っている人の割合		C
75歳未満のがんの年齢調整死亡率	男性	A
75歳未満のがんの年齢調整死亡率	女性	B
脳血管疾患の年齢調整死亡率	男性	A
脳血管疾患の年齢調整死亡率	女性	A
虚血性心疾患の年齢調整死亡率	男性	D
虚血性心疾患の年齢調整死亡率	女性	A
収縮期血圧の平均値	男性	B
収縮期血圧の平均値	女性	B
中性脂肪 150 mg/dl 以上の人の割合	男性	B
中性脂肪 150 mg/dl 以上の人の割合	女性	B
LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の人の割合	男性	B
LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の人の割合	女性	B
糖尿病有病者割合	男性	B
糖尿病有病者割合	女性	B
糖尿病有病者割合	全体	B
糖尿病腎症による人工透析患者数		A
糖尿病治療継続者の割合		B
血糖コントロール不良者の割合		A
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合		C
<b>基本目標達成の方向性 ライフステージに合わせた健康づくりの推進</b>		
<b>分野2 栄養・食生活</b>		
朝食欠食者の割合	小学5年生	D
朝食欠食者の割合	高校2年生	B
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合		C
1日あたりの食塩摂取量		B
1日あたりの野菜摂取量		C
1日あたりの果物摂取量が100g以下の人の割合		E
食事を一人で食べる子どもの割合	小学5年生	B
食事を一人で食べる子どもの割合	中学2年生	B
低出生体重児の割合		C
中等度・高度肥満の傾向のある子どもの割合(小学5年生)	男子	B
中等度・高度肥満の傾向のある子どもの割合(小学5年生)	女子	B
肥満者の割合(BMI25以上)	20~60歳男性	B
肥満者の割合(BMI25以上)	40~60歳女性	C

指標			評価
20歳代の女性のやせの割合(BMI18.5未満)			C
低栄養傾向の高齢者の割合(BMI20以下)			B
1日あたりの脂肪エネルギー比率			C
1日あたりのカルシウム摂取量			D
食生活改善推進員数			B
食に関する健康づくりに協力する店舗の数			E
<b>分野3 身体活動・運動</b>			
日常生活で歩行または同等に身体を動かしている時間	20～64歳	男性	E
日常生活で歩行または同等に身体を動かしている時間	20～64歳	女性	E
日常生活で歩行または同等に身体を動かしている時間	65歳以上	男性	E
日常生活で歩行または同等に身体を動かしている時間	65歳以上	女性	E
運動習慣者の割合	20～64歳	男性	B
運動習慣者の割合	20～64歳	女性	C
運動習慣者の割合	65歳以上	男性	A
運動習慣者の割合	65歳以上	女性	C
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っている人の割合			B
何らかの地域活動をしている高齢者の割合			E
介護保険第1号被保険者の認定者割合			B
基本チェックリスト回収率			E
<b>分野4 休養・こころの健康</b>			
睡眠による休養が十分とれていない人の割合			D
週労働時間が60時間以上の人の割合			B
強いストレスを感じている人の割合			B
産後2週間以上のうつ症状があったときに専門機関に相談した人の割合			B
自殺者数			B
<b>分野5 たばこ</b>			
同居家族の喫煙者の割合	妊婦		A
同居家族の喫煙者の割合	4か月児		E
同居家族の喫煙者の割合	1歳6か月児		E
同居家族の喫煙者の割合	3歳児		E
成人の喫煙率	男性		B
成人の喫煙率	女性		A
妊娠中に喫煙している人の割合			B
喫煙している未成年者の割合	中学生		E
喫煙している未成年者の割合	高校生		E
<b>分野6 アルコール</b>			
妊娠中に飲酒している人の割合			B
飲酒している未成年者の割合	中学生		E
飲酒している未成年者の割合	高校生		E
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	男性		A
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	女性		B
<b>分野7 歯と口の健康</b>			
仕上げみがきがされている1歳6か月児の割合			A
給食後の歯みがきをしている中学校の割合			A
過去1年間に歯科健診を受けている人の割合			A
妊婦歯科健康診査を受けている人の割合			D
60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合			A
むし歯のない児の割合	3歳児		B
むし歯のない児の割合	12歳児		B

指標		評価
<b>分野8 健やか親子</b>		
性行動による性感染症等の身体影響等について知識のある高校生の割合		A
かかりつけ小児科医を持っている保護者の割合(4か月児)		B
休日・夜間の小児医療救急機関を知っている保護者の割合(4か月児)		C
乳児期に寝かし始める時のうつぶせ寝をさせている保護者の割合		B
10歳代の性感染症罹患者の割合	性器クラミジア	B
10歳代の性感染症罹患者の割合	淋病感染症	D
10歳代の性感染症罹患者の割合	尖圭コンジローマ	A
10歳代の性感染症罹患者の割合	性器ヘルペス	B
<b>基本目標達成の方向性：健康づくりを支える社会の構築</b>		
地域でお互いに助け合っていると思う人の割合		E
地域の活動やボランティア活動に参加している人の割合		A
保健所が養成・支援をしている健康づくりのボランティアを知っている人の割合		D

## 2

## 今後の方向性

基本目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」に関する指標は、横ばいから改善で進捗しています。基本目標の指標は、基本目標達成の方向性に設定された95の指標が取組によって改善されることにより、更なる改善が見込まれます。

基本目標達成の方向性の「生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底」については、健康づくりの基本は自分の健康への気づきとの観点から、各種検診（健診）を受ける人を増やす必要があります。市以外の検診（健診）利用者が多い現状を踏まえ、企業等との連携を強化し、誰もがどこかで検診（健診）を受診することを目指していきます。

基本目標達成の方向性「ライフステージに合わせた健康づくりの推進」について、たばこ、アルコール、歯と口の健康分野の主要な指標の「達成」、「改善」がありました。一方で健康づくりの3本柱と言われる運動・栄養・休養に関連する身体活動・運動、栄養・食生活、休養・こころの健康分野については、「改善」されている指標が多くあるものの、分野の主要な指標で「改善」が見られていません。

市民アンケート等から明らかになった健康づくりに取り組めていない理由や取り組めていない人の特徴に合った働きかけが必要になります。具体的な方策としては、個人で積極的に健康づくりに取り組めない健康無関心層の人が、遊び感覚で楽しみながら健康になれる仕掛けを提案していきます。また、具体的な目標数値と現状、改善することの意義を明確に周知し、市民自らが日々の健康づくりに目標を持って取り組めるようにしていきます。

基本目標達成の方向性「ライフステージに合わせた健康づくりの推進」では、地域で活動やボランティアに参加している人が増えている一方で、健康づくりに関するボランティアの認知度が低い結果となっています。健康無関心層が健康づくりに取り組むきっかけとして、地域で身近な人からの口コミが効果的であるとされているため、地域の関係者との連携を強化し、市と協働して地域で健康づくりを推進している健康推進員等のボランティアの認知度向上に努めていきます。また、健康づくりに取り組めていない人が多い働き世代の健康づくりを進めるために、市が進めている「そこに暮らすことで健幸になれるまち」スマートウェルネスシティの取組について、地域や企業、関係団体に周知を図り、連携した取組を行っていくことが必要です。



●● 計画後期の指標の一覧

計画後期では、現時点で目標を達成している指標や今後もデータを得ることが難しいと判断され指標を一部変更又は廃止し、指標の進捗管理を行っていきます。

※ 表中の斜字は、指標・目標値を変更したものの

指標		目標値	
<b>基本目標：健康寿命の延伸と健康格差の縮小</b>			
健康寿命	男性	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	
健康寿命	女性	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	
自分が健康であると思う人の割合		85.0%以上	
毎日が楽しいと思う人の割合		85.0%以上	
指標		目標値	
<b>基本目標達成の方向性：生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（分野1）</b>			
40～69歳のがん検診受診率(胃がん)		50%以上	
40～69歳のがん検診受診率(肺がん)		50%以上	
40～69歳のがん検診受診率(大腸がん)		50%以上	
20～69歳(女性)のがん検診受診率(子宮頸がん)		50%以上	
40～69歳(女性)のがん検診受診率(乳がん)		50%以上	
特定健康診査実施率		60%以上	
特定保健指導実施率		60%以上	
COPDを知っている人の割合		80%以上	
75歳未満のがんの年齢調整死亡率		男性	70.2以下
75歳未満のがんの年齢調整死亡率		女性	44.1以下
脳血管疾患の年齢調整死亡率		男性	42.1以下
脳血管疾患の年齢調整死亡率		女性	26.6以下
虚血性心疾患の年齢調整死亡率		男性	20.2以下
虚血性心疾患の年齢調整死亡率		女性	13.8以下
収縮期血圧の平均値		男性	124.3mmHg以下
収縮期血圧の平均値		女性	122.3mmHg以下
中性脂肪 150 mg/dl 以上の人の割合		男性	22.0%以下
中性脂肪 150 mg/dl 以上の人の割合		女性	16.0%以下
LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の人の割合		男性	8.0%以下
LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の人の割合		女性	12.0%以下
糖尿病有病者割合		男性	9.0%以下
糖尿病有病者割合		女性	5.0%以下
糖尿病有病者割合		全体	7.0%以下
糖尿病腎症による人工透析患者数		10.6以下	
糖尿病治療継続者の割合		75%以下	
血糖コントロール不良者の割合		1.0%以下	
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合		21.4%以下	
<b>基本目標達成の方向性：ライフステージに合わせた健康づくりの推進</b>			
<b>分野2 栄養・食生活</b>			
朝食欠食者の割合		小学5年生	2.0%以下
朝食欠食者の割合		高校2年生	10%以下
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合		50%以上	
1日あたりの食塩摂取量		8g未満	
1日あたりの野菜摂取量		350g以上	
1日あたりの果物摂取量が100g程度の人割合		70%以上	

指標		目標値
<b>分野2 栄養・食生活</b>		
食事を一人で食べる子どもの割合	小学5年生	減少
食事を一人で食べる子どもの割合	中学2年生	減少
低出生体重児の割合		減少
中等度・高度肥満の傾向のある子どもの割合(小学5年生)	男子	減少
中等度・高度肥満の傾向のある子どもの割合(小学5年生)	女子	減少
肥満者の割合(BMI25以上)	20～60歳男性	25.4%以下
肥満者の割合(BMI25以上)	40～60歳女性	11.7%以下
20歳代の女性のやせの割合(BMI18.5未満)		15.0%以下
低栄養傾向の高齢者の割合(BMI20以下)		減少
食生活改善推進員数		180人
食に関する健康づくりに協力する店舗の数		200店舗
<b>分野3 身体活動・運動</b>		
日常生活における歩行数	20～64歳 男性	9,500歩以上
日常生活における歩行数	20～64歳 女性	8,500歩以上
日常生活における歩行数	65歳以上 男性	7,000歩以上
日常生活における歩行数	65歳以上 女性	6,000歩以上
運動習慣者の割合	20～64歳 男性	28%以上
運動習慣者の割合	20～64歳 女性	29%以上
運動習慣者の割合	65歳以上 男性	55%以上
運動習慣者の割合	65歳以上 女性	55%以上
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っている人の割合		80%以上
何らかの地域活動をしている高齢者の割合		80%以上
介護保険第1号被保険者の認定者割合		16.4%以下
<b>分野4 休養・こころの健康</b>		
睡眠による休養が十分とれていない人の割合		17.0%以下
週労働時間が60時間以上の人の割合		6.0%以下
強いストレスを感じている人の割合		14.0%以下
産後2週間以上のうつ症状があったときに専門機関に相談した人の割合		増加
自殺者数		減少
<b>分野5 たばこ</b>		
同居家族の喫煙者の割合	妊婦	17.0%以下
育児期間中の両親の喫煙率	父親	25.0%以下
育児期間中の両親の喫煙率	母親	3.5%以下
成人の喫煙率	男性	19.0%以下
成人の喫煙率	女性	5.0%以下
妊娠中に喫煙している人の割合		0%
喫煙している未成年者の割合	中学生	0%
喫煙している未成年者の割合	高校生	0%
<b>分野6 アルコール</b>		
妊娠中に飲酒している人の割合		0%
飲酒している未成年者の割合	中学生	0%
飲酒している未成年者の割合	高校生	0%
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	男性	13.0%以下
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	女性	7.0%以下

指標		目標値
<b>分野7 歯と口の健康</b>		
仕上げみがきがされている1歳6か月児の割合		95.0%以上
給食後の歯みがきをしている中学校の割合		70.0%以上
過去1年間に歯科健診を受けている人の割合		50.0%以上
妊婦歯科健康診査を受けている人の割合		60.0%以上
60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合		80.0%以上
むし歯のない児の割合	3歳児	88.0%以上
むし歯のない児の割合	12歳児	77.0%以上
<b>分野8 健やか親子</b>		
性行動による性感染症等の身体影響等について知識のある高校生の割合		90.0%以上
かかりつけ小児科医を持っている保護者の割合(4か月児)		97.0%以上
休日・夜間の小児医療救急期間を知っている保護者の割合(4か月児)		97.0%以上
乳児期に寝かし始める時のうつぶせ寝をさせている保護者の割合		減少
10歳代の性感染症罹患者の割合	性器クラミジア	減少
10歳代の性感染症罹患者の割合	淋病感染症	維持
10歳代の性感染症罹患者の割合	尖圭コンジローマ	減少
10歳代の性感染症罹患者の割合	性器ヘルペス	減少
<b>基本目標達成の方向性：健康づくりを支える社会の構築</b>		
地域でお互いに助け合っていると思う人の割合		63.0%以上
地域の活動やボランティア活動に参加している人の割合		維持
保健所が養成・支援をしている健康づくりのボランティアを知っている人の割合		50.0%以上